

平成27年度予算見積調書

課室名：共助社会づくり課

担当名：担い手支援担当

内線：2837

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B10	企業発共助推進事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	共助による地域のきずなづくり推進費	
事業期間	平成27年度～平成29年度	根拠法令				戦略項目	12	日本一の共助県づくり	
						分野施策	050301	支え合いで輝く豊かな地域社会の形成	
<p>1 事業の概要</p> <p>県と8金融機関とは、地域の様々な主体が取り組む共助の活動を推進し、新たな需要、雇用、資金循環を生み出すことで地域の課題を解決し活性化することを協力して取り組む協定を締結した。</p> <p>そこで、企業が地域の一員として民間の発想を活かした多様な共助活動を興し、金融機関を通して企業に働きかけていく。</p> <p>また、企業発の共助のアイデアを県がつなぎ役となってNPOや自治体などをつなぎ、具体的な事業を生み出す。</p> <p>(1) 共助担い手掘り起こし推進 3,346千円 (2) 課題解決プロジェクト推進 303千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 共助担い手掘り起こし推進 3,346千円 (ア) 共助担い手掘り起こし (イ) 「定年前からの地域活動!のヒント」作成</p> <p>イ 課題解決プロジェクト推進 303千円 (ア) 地域の見守り (イ) 空き家・空きスペース有効活用 等</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 共助担い手掘り起こし推進 ・定年前のサラリーマンに対して地域活動への参加を促進 ・金融機関が企業にPRする際に使用する啓発冊子の作成</p> <p>イ 課題解決プロジェクト推進 (ア) 地域の見守り ・モデルエリアの選定、企業、NPO、商店街、市町村等でタスクホース設置、モデル事業の立ち上げ (イ) 空き家・空きスペース有効活用 ・企業、行政、金融機関等の政策研究チームを設置、情報共有、モデル事業実施、活用手引き作成</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>・サラリーマンの地域活動を支援することにより、共助社会の担い手を育成する。 ・民間の発想を生かした多様な共助活動を興し、社会的事業を効率的に推進する。 ・企業と組むことで、共助社会づくりを地域の課題解決、活性化につなげるために必要な経済的要素、戦略、手段を整理しモデルを構築する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>・単独では解決できなかった地域課題を解決するため、それぞれの強みを活かし企業、NPO、行政等が連携する。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	3,649							3,649	3,649
前年額									